

『緑住文化都心』の 形成をめざして

相模原駅周辺地区都市デザイン基本計画



4つの「都市の丘」～地区別骨格形成ガイドライン～

骨格形成ガイドラインは、「都市の丘」、「都市の回廊」を形成していく際に具体的な整備指針となる形成テーマとデザイン配慮を示すものです。

1 駅前地区

【形成テーマ】 出会いの丘

駅前に立地する都心商業・業務ゾーンの拠点核として、駅利用者や商業・業務施設利用者など多様な人々が集まり、人とヒト、人とモノ、現在と未来などが交流する情報拠点となる“出会いの丘”とします。

【形成イメージ】

駅前広場（ペDESTリアンデッキ）及びそれを取り囲む周辺街区によって、平坦な当地区の風景に視覚的な変化をつけ、「近代都市の中に浮かぶ出会いの丘」となるようなシンボリックな景観づくりを行います。

□敷地

- 都市の丘にふさわしい景観づくりのために、敷地の共同化の促進・細分化の抑制など、適切な土地利用を促進します。

□建物

- 駅前広場に面する建物は壁面線の指定等によりセットバックを行い、ゆとりある空間を創出するとともに、樹木の列植により都市の丘の演出に努めます。
- 建物の意匠・形態は、本地区の形成イメージを演出する建物デザインとして統一することにより一体的な顔づくりを行います。

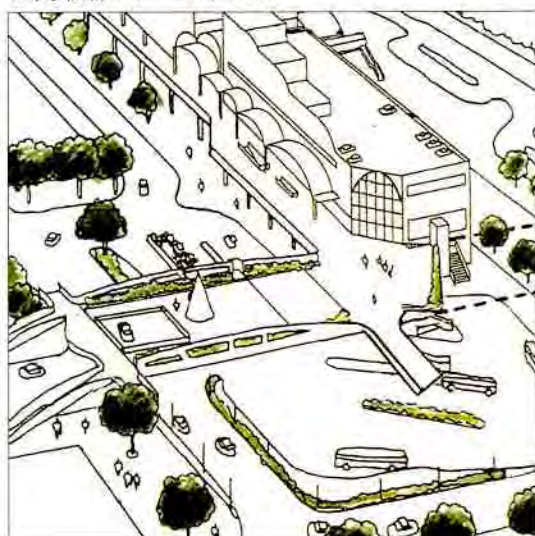
□看板・広告物

- 統一案内サインの設置により、施設誘導を明確に行います。

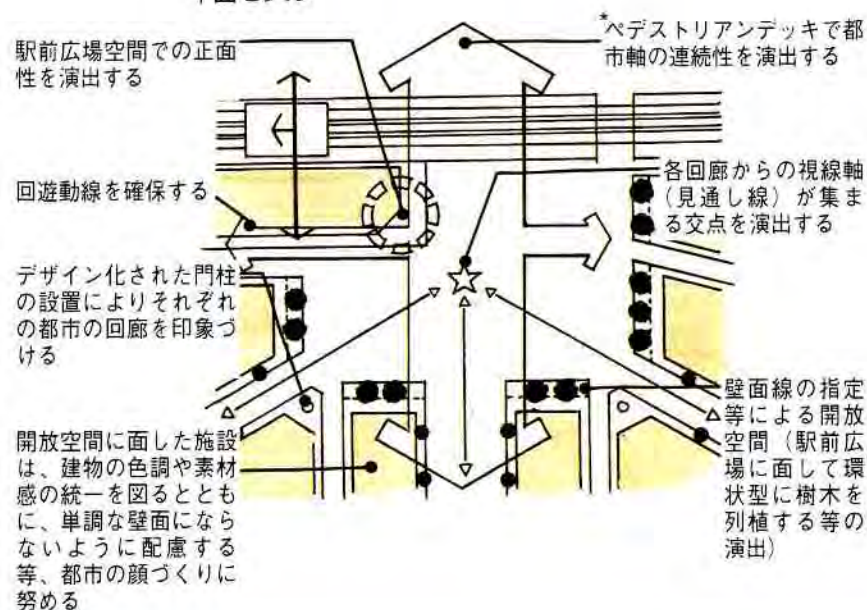
□駐車場

- 立体駐車場は単調な壁面デザインとならないように工夫を凝らします。

空間形成イメージモデル



平面モデル



2 中央地区

【形成テーマ】 遊びの丘

都心商業・業務ゾーンの拠点核として、求心性のある商業施設を中心として人とヒト、人とモノが出会い、商業・アミューズメントの活動拠点となる“遊びの丘”とします。

【形成イメージ】

交差点に面した4街区の施設が連携し、ゆとりある広場空間を取り囲んで立地することにより、シンボルとなる景観づくりを行います。

□敷地

- 都市の丘にふさわしい景観づくりのために、敷地の共同化の促進・細分化の抑制など、適切な土地利用を促進します。

□建物

- 交差点に面する建物はセットバックを行い、遊びの舞台となる象徴的な開放空間を創出します。
- 建物の意匠・形態は、本地区の形成イメージを演出する建物デザインとして統一することにより一体的な顔づくりを行います。
- 建物内に外部空間と連続したアトリウム空間、インナーモール（屋内通路）を確保することにより、界限性の感じられる空間を演出します。

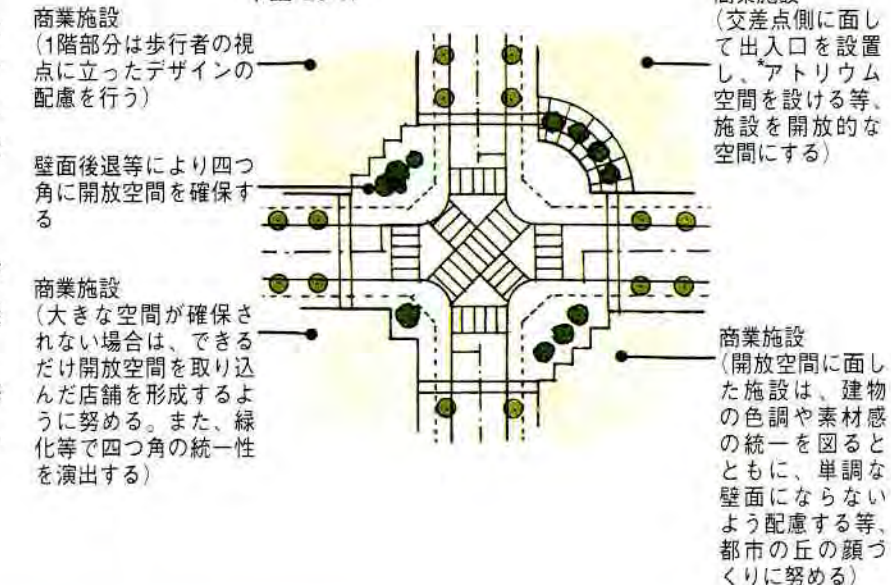
□駐車場

- 立体駐車場は単調な壁面デザインとならないように工夫を凝らします。
- 屋外駐車場は積極的に緑化修景を図る等景観づくりに配慮したものとします。

空間形成イメージモデル



平面モデル



4つの「都市の丘」整備指針（共通事項）

- 工作物・設備・建物前面への設置は避けます。
 - ・屋上に設置する場合は、建物と一体的なデザインで遮蔽するなど目立たない工夫をします。
- 看板・広告物・地区の形成イメージに配慮したデザインで必要最低限の掲出とします。（西門地区を除く）
 - ・屋上広告・置き看板の設置は避けます。

- 駐車場・可能な限り共同化・地下化を促進します。
- 道路空間・歩車道舗装や街路灯、ポラード等は地区の形成イメージを演出するデザイン要素を取り込むとともに、都市の丘に接続する回廊軸とのデザインの整合性に配慮します。

3 市役所周辺地区

【形成テーマ】 憩いの丘

市民に広く利用される公共・公益施設の集積するシビックセンターゾーンの拠点核として、自然豊かな広場空間を背景に、市民生活を充実させる文化・情報拠点となる“憩いの丘”とします。

【形成イメージ】

大規模な敷地を活用し、市民をはじめとした来街者などが幅広く利用できるような緑の開放空間を交差点周辺に創出し、四季の変化を身近に感じる“さくらのシビックセンター”としての風景づくりを行います。

□敷地

- 都市の丘にふさわしい景観づくりのために、現況の大規模な敷地を活用し、ゆとりある開放空間を持った土地利用を促進します。
- 開放空間には四季に変化する樹木を植えるなど相模原らしい風景の演出や、敷地境界に柵等を設置しないなど施設利用者でなくても利用可能なように配慮します。

□建物

- 交差点に面する建物は壁面線の指定等によりセットバックを行い、憩いの場となる象徴的な開放空間を創出します。
- 建物の意匠・形態は、それぞれが風格を持つシンボリックな建物デザインとすることにより丘の顔づくりを行います。

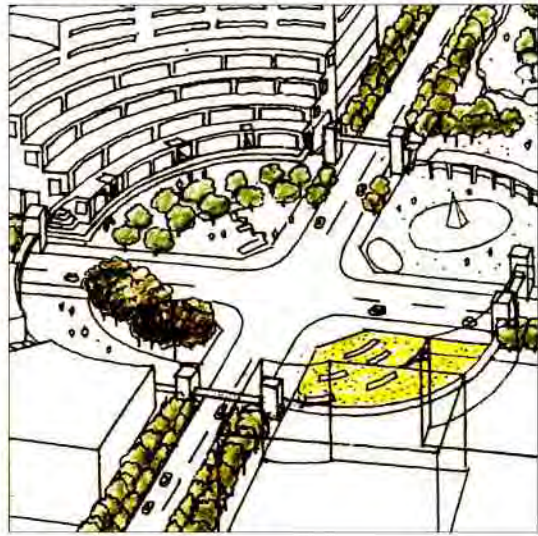
□看板・広告物

- 電飾広告、屋上広告、置き看板の設置は避けます。
- 統一案内サインの設置により、施設誘導を明確に行います。

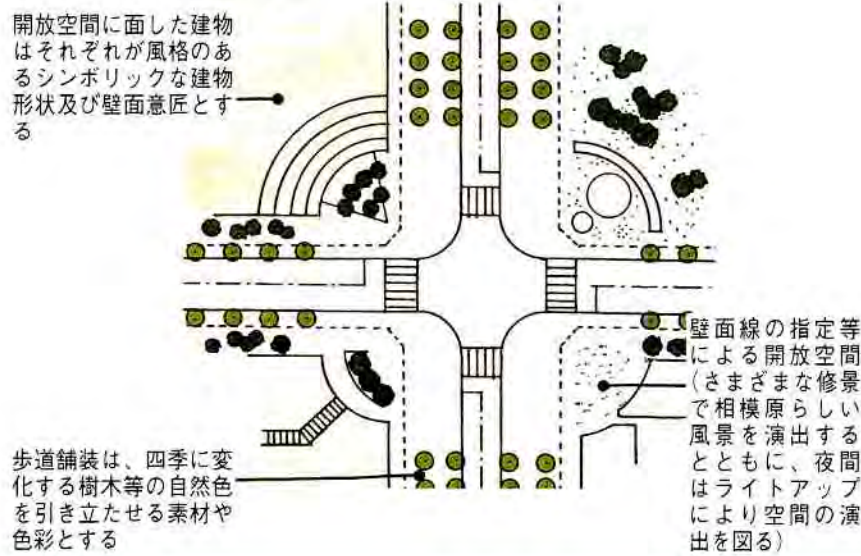
□駐車場

- 屋外駐車場は積極的に緑化修景を図る等景観づくりに配慮したものとします。

空間形成イメージモデル



平面モデル



4つの「都市の丘」整備指針（共通事項）

- 工作物・設備・建物前面への設置は避けます。
 - ・屋上に設置する場合は、建物と一体的なデザインで遮蔽するなど目立たない工夫をします。
- 看板・広告物・地区の形成イメージに配慮したデザインで必要最低限の掲出とします。（西門地区を除く）
 - ・屋上広告・置き看板の設置は避けます。

4 西門地区

【形成テーマ】 祭りの丘

都心商業・業務ゾーンの拠点核として、性格を異にする商業空間である“グリーンプラザさがみはら”と“さんばせ通り”につながるにぎわいの始まりを感じさせる交流拠点となる“祭りの丘”とします。

【形成イメージ】

交差点に面する各建物が、各々の建築空間に祭りの舞台となる丘を取り込むことによって象徴的な景観づくりを行います。

□敷地

- 都市の丘にふさわしい景観づくりのために、敷地の共同化の促進・細分化の抑制など、適切な土地利用を促進します。

□建物

- 交差点に面する建物はセットバックによる開放空間の創出や建物への多様な広場の取り込みにより、祭りの舞台となる空間を創出します。
- 建物の意匠・形態は、本地区の形成イメージを演出する舞台が広がるシンボリックな建物デザインとすることにより丘の顔づくりを行います。

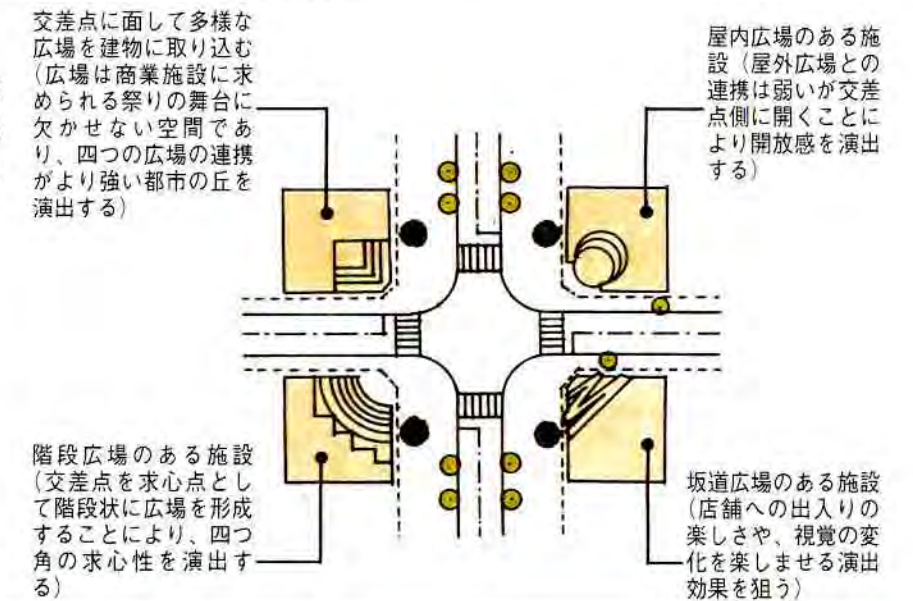
□看板・広告物

- 本地区の形成イメージに配慮したデザイン看板・広告物の掲出により祭りの舞台を演出します。

空間形成イメージモデル



平面モデル



□駐車場・可能な限り共同化・地下化を促進します。

- 道路空間・歩道舗装や街路灯、ポラード等は地区の形成イメージを演出するデザイン要素を取り込むとともに、都市の丘に接続する回廊軸とのデザインの整合性に配慮します。

7つの「都市の回廊」～地区別骨格形成ガイドライン～

1 県道相模原停車場線（さがみ夢大通り）沿道地区

【形成テーマ】 風格のあるシンボル回廊軸

【形成イメージ】

まちづくりのテーマである「光と風」をイメージして修景整備された広い歩道のある道路空間（幅員25m）を活用し、沿道施設の意匠・形態を積極的にデザイン統一（壁面線や高さの統一、歩道の開放感と調和した建物前面の色調や壁面素材等の統一）することにより、風格の感じられる景観づくりを行います。

□建物

- 沿道施設は商業・業務系の建物用途とするとともに、壁面線や軒高の統一、建物前面の壁面の基調となる色調や素材感を統一し、シンボル軸としての風格を整えます。
- 低層部分は風格の中のにぎわいや開放感のあるデザイン演出を行います。

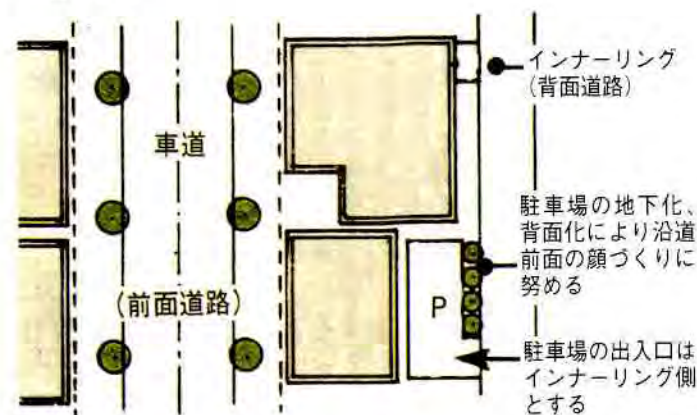
□看板・広告物

- 必要最低限の掲出とし、規模・設置位置などを統一します。

空間形成イメージモデル



平面モデル



7つの「都市の回廊」整備指針（共通事項）

- 敷地 (広幅員の道路空間に対してアンバランスな沿道景観としないために) 敷地の共同化の促進・細分化の抑制など適切な土地利用を促進します。
- 工作物・設備 建物前面への設置は避けます。(相模原横山線沿道地区を除く)
 - ・屋上に設置する場合は、建物に調和させ、突出して目立たない工夫をします。
- 看板・広告物 屋上広告、置き看板の設置は避けます。
- 駐車場 共同化・地下化を促進するとともに、インナーリングからの背面アプローチを原則とし建物前面には配置しないものとします。(国道16号沿道地区を除く)
 - ・屋外駐車場は緑化修景を図るなど、沿道景観づくりに配慮したものとします。
- 道路空間 道路空間の美化や街路樹の育成に努めます。(電線類が地中化されていない沿道は、地中化を図ります。)

2 南橋本弥栄荘線（リバティ大通り）沿道地区

【形成テーマ】 変化の回廊軸

【形成イメージ】

修景整備された広幅員の道路空間（幅員25m）と沿道における土地利用の変移を有効に活用し、沿道施設の意匠・形態はまちづくりのテーマである「○」「△」「□」をデザインモチーフとして、歩行者空間に多様な凹空間のある変化とにぎわいの感じられる景観づくりを行います。

□建物

- セットバックを行うとともに、壁面線を揃えるよりは平面的に多様な凹空間を持った沿道景観の変化を演出します。
- 建物は街区ごとのデザインテーマを取り入れた個性ある意匠・形態とします。

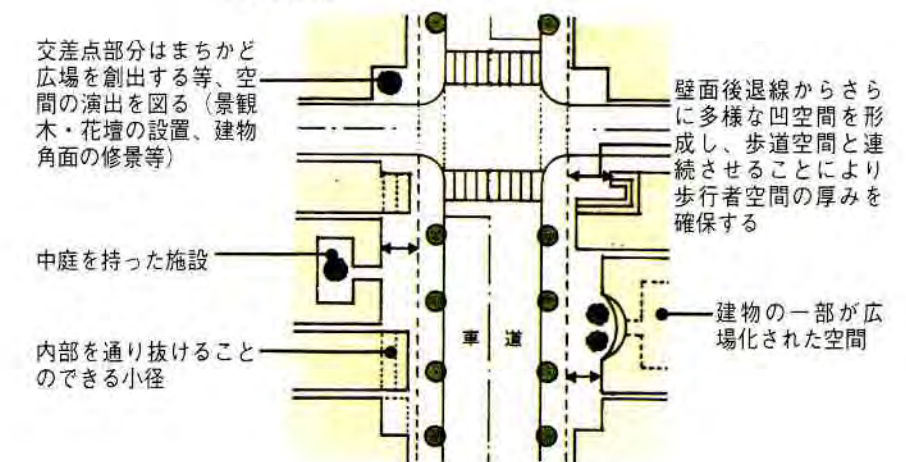
□看板・広告物

- 必要最低限の掲出とし、街区ごとのデザインテーマを取り入れた個性的なものを建物前面の低い位置に設置します。

空間形成イメージモデル



平面モデル



3 市役所前通り線（グリーンプラザさがみはら）沿道地区

【形成テーマ】 祝祭の回廊軸

【形成イメージ】

緑豊かで広い歩道のある道路空間（幅員40m）を活用し、沿道施設の低層部の商業空間の連続性や上空へ向けての開放感の演出、市場的な広場の創出などによってにぎわいが広がる景観づくりを行います。

□建物

- 低層部での商業空間を連続させるとともに、建物の一部を利用した部分的なセットバックにより常設的な市場的広場を創出するなど、にぎわいの感じられる沿道景観とします。
- 3階以上の壁面線を後退させ、上空に向かっての開放感を演出します。

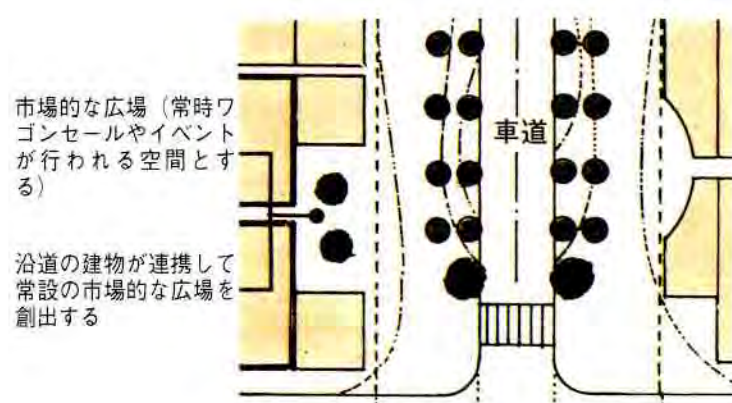
□看板・広告物

- 店舗表示看板のデザインや規模・設置位置を統一し、まとまりのある祝祭空間を演出します。

空間形成イメージモデル



平面モデル



7つの「都市の回廊」整備指針（共通事項）

- 敷地 ・(広幅員の道路空間に対してアンバランスな沿道景観としないために)敷地の共同化の促進・細分化の抑制など適切な土地利用を促進します。
- 工作物・設備 ・建物前面への設置は避けます。(相模原横山線沿道地区を除く)
・屋上に設置する場合は、建物に調和させ、突出して目立たない工夫をします。
- 看板・広告物 ・屋上広告、置き看板の設置は避けます。
- 駐車場 ・共同化・地下化を促進するとともに、インナーリングからの背面アプローチを原則とし建物前面には配置しないものとします。(国道16号沿道地区を除く)
・屋外駐車場は緑化修景を図るなど、沿道景観づくりに配慮したものとします。
- 道路空間 ・道路空間の美化や街路樹の育成に努めます。(電線類が地中化されていない沿道は、地中化を図ります。)

4 相模原駅共和線（さんはず通り）沿道地区

【形成テーマ】 輝きの回廊軸

【形成イメージ】

ヒューマンスケール（幅員15m）の道路空間を歩いて魅力あるものとするため、沿道施設の低層部は壁面後退と商業空間を連続させ、建物の意匠・形態はまちづくりのテーマである「光と輝き」をイメージしたデザインを配慮することにより、回廊の統一感とゆとり・にぎわいの感じられる風景づくりを行います。

□建物

- ゆとりある歩行者空間の確保のため、沿道施設のセットバックを行うとともに、本地区の形成イメージを演出するデザイン配慮を行います。

<デザイン基準>

- 地盤面から高さが3m以下の部分は、道路境界から1m以上（幅員18m区間）、または1.5m以上（幅員15m区間）の壁面後退（セットバック）を行います。
- セットバック部分は歩道との段差をなくし、歩道と連動した舗装（色調・素材等）を行います。
- ドアは歩行者の安全確保のため、内開きあるいは引戸とします。
- 低層部は商業・業務系の建物利用とするとともに、1階開口部のショーウィンドウ化を図ります。
- 外壁の色彩（ベージュ・茶系）や素材（レンガタイル・自然石等）の統一を行います。
- 2階部分の窓の演出を図ります。（出窓、縦長窓等）
- シースルーシャッターを用い、閉店後も明るい街並みを演出します。
*まちづくり協定・ガイドプランから抜粋

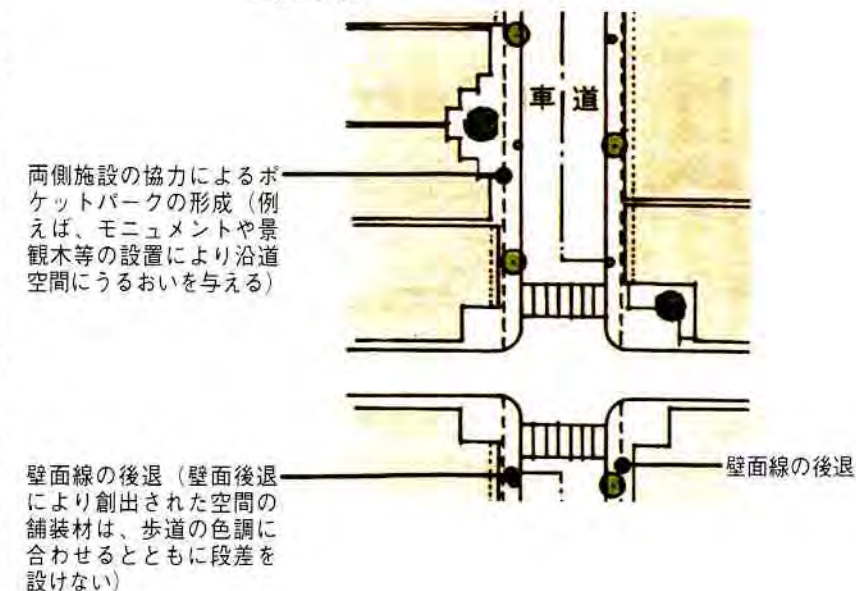
□看板・広告物

- 必要最低限の掲出とし、形成イメージに準じたデザインのもを建物前面の低い位置に控えめに掲出します。

空間形成イメージモデル



平面モデル



5 相模原駅氷川線（氷川通り）沿道地区

【形成テーマ】 気品の回廊軸

【形成イメージ】

ヒューマンスケール（幅員15m）の道路空間を歩いて魅力あるものとするため、沿道施設の低層部は壁面後退と商業空間を連続させ、建物の意匠・形態はまちづくりのテーマである「風と気品」をイメージしたデザインを配慮することにより、回廊の統一感と気品の感じられる風景づくりを行います。

□建物

- ゆとりある歩行者空間の確保のため、沿道施設のセットバックを行うとともに、本地区の形成イメージを演出するデザイン配慮を行います。

＜デザイン基準＞

- 地盤面からの高さが3m以下の部分は、道路境界から1m以上の壁面後退（セットバック）を行います。

- セットバック部分は歩道との段差をなくし、歩道と連動した舗装（色調・素材等）を行います。

- ドアは歩行者の安全確保のため、内開きあるいは引戸とします。

- 低層部は商業・業務系の建物利用とともに、1階開口部のショーウィンドウ化を図ります。

- 2階以上の壁面はシャープな感じのするグレー系の色調とします。

- 窓はシンプルで大きめなものとし、ガラスブロック等の素材で演出します。

- シースルーシャッターを用い、閉店後も明るい街並みを演出します。

*まちづくり協定・ガイドプランから抜粋

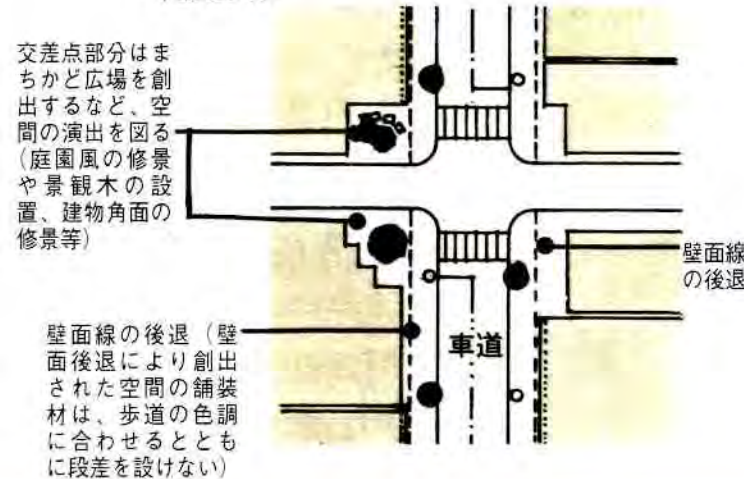
□看板・広告物

- 必要最低限の掲出とし、“和”のデザイン要素を取り入れた個性的なデザインのもを建物前面の低い位置に掲出します。

空間形成イメージモデル



平面モデル



7つの「都市の回廊」整備指針（共通事項）

- 敷地 敷地・（広幅員の道路空間に対してアンバランスな沿道景観としないために）敷地の共同化の促進・細分化の抑制など適切な土地利用を促進します。
- 工作物・設備 建物前面への設置は避けず。（相模原横山線沿道地区を除く）
・屋上に設置する場合は、建物に調和させ、突出して目立たない工夫をします。
- 看板・広告物 屋上広告、置き看板の設置は避けず。
- 駐車場 共同化・地下化を促進するとともに、インナーリングからの背面アプローチを原則とし建物前面には配置しないものとします。（国道16号沿道地区を除く）
・屋外駐車場は緑化修景を図るなど、沿道景観づくりに配慮したものとします。
- 道路空間 道路空間の美化や街路樹の育成に努めます。（電線類が地中化されていない沿道は、地中化を図ります。）

6 国道16号沿道地区

【形成テーマ】 緑の回廊軸

【形成イメージ】

広幅員（幅員40m）の道路空間の中に列植された街路樹によって形成された緑豊かな側道空間を活用し、沿道施設は中・低層で勾配屋根のある建物形態とするとともに、建物の前面に開放感あふれる緑地空間を持たせることにより、側道と歩道空間の緑陰の豊かさを感じさせる公園的な風景づくりを行います。

□敷地

- 敷地境界は柵やブロック塀等の設置を避け、低木・花木等を積極的に植栽します。

□建物

- 開放性の高い緑豊かで公園的な歩行者空間を演出するために、可能な範囲でセットバックを行い、前庭を持つ施設配置とします。

- 商業・業務系の建物用途とするとともに、中・低層で勾配屋根の意匠・形態とします。

□看板・広告物

- 必要最低限の掲出とし、形成イメージに準じたデザインのもを建物前面の低い位置に控えめに掲出します。

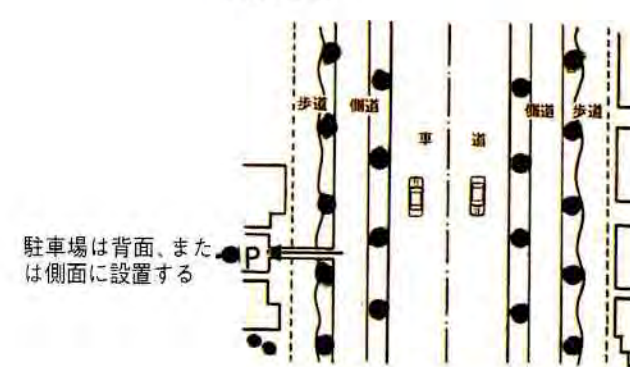
□駐車場

- 国道16号からのアプローチによる歩道の分断を極力避けるとともに建物前面には配置しないものとします。

空間形成イメージモデル



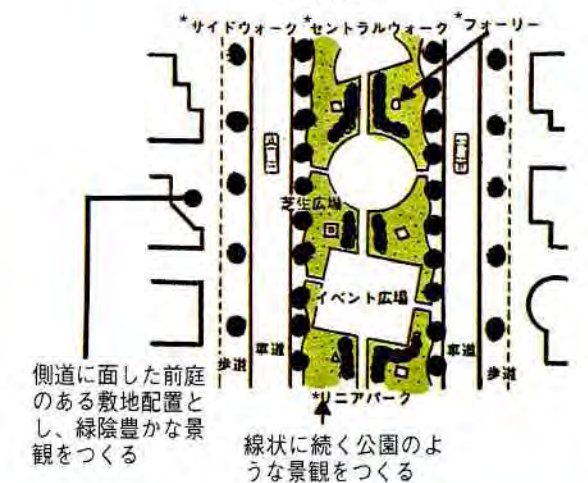
平面モデル



〈未来像〉



〈未来像〉



サイドウォーク…公園内の補助的な通路となる細園路

セントラルウォーク…公園内の主要通路となる幹線園路

フォーリー…庭園内に景観をつくるために置かれた小さな建物

リニアパーク…線状の公園のこと（例えば横浜の大通り公園）

7 相模原横山線沿道地区

【形成テーマ】 緑と文化の回廊軸

【形成イメージ】

国道16号以北は、他の回廊軸と比べて、折れ曲がった視覚的に変化のある道路空間となっているため、交差点部分の積極的な演出を図るとともに、文化性のある施設の立地などにより緑と文化の感じられる風景づくりを行います。また、沿道施設の壁面後退によるゆとりある歩行者空間の創出とモール化を図ります。

□建物

- 国道16号以北は、ゆとりある歩行者空間の確保のため、沿道施設のセットバックを行うとともに、本地区の形成イメージを演出するデザインに配慮します。
- 低層部においては商業・業務系等の建物用途とするとともに、半地下空間の活用など重層的、個性的なデザインに配慮します。
- 交差点等のアイストップになる場所では、まちを演出するデザインに配慮します。

□工作物・設備

- 建物前面への設備機器類の設置は避けるが、セットバック空間（国道16号以北）へオブジェ等を設置するなど変化に富んだ沿道景観を演出します。

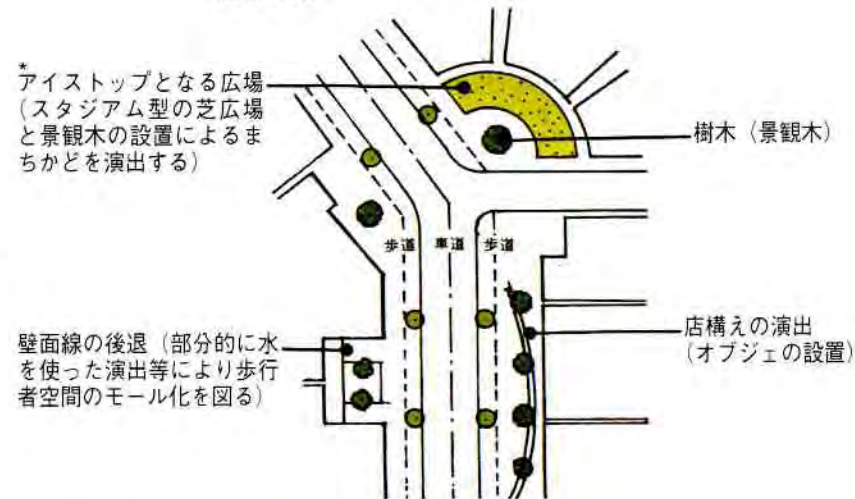
□看板・広告物

- 必要最低限の掲出とし、形成イメージに準じたデザインのもを建物前面の低い位置に控えめに掲出します。

空間形成イメージモデル



平面モデル



7つの「都市の回廊」整備指針（共通事項）

- 敷地 ・(広幅員の道路空間に対してアンバランスな沿道景観としないために)敷地の共同化の促進・細分化の抑制など適切な土地利用を促進します。
- 工作物・設備 ・建物前面への設置は避けず。(相模原横山線沿道地区を除く)
・屋上に設置する場合は、建物に調和させ、突出して目立たない工夫をします。
- 看板・広告物 ・屋上広告、置き看板の設置は避けず。
- 駐車場 ・共同化・地下化を促進するとともに、インナーリングからの背面アプローチを原則とし建物前面には配置しないものとします。(国道16号沿道地区を除く)
・屋外駐車場は緑化修景を図るなど、沿道景観づくりに配慮したものとします。
- 道路空間 ・道路空間の美化や街路樹の育成に努めます。(電線類が地中化されていない沿道は、地中化を図ります。)

アイストップ…景観的な視線を誘導する目印